

## 3月季節の便り



### モズ・メス

モズはヒヨドリより小さいが猛禽類に入りますので、モズが現れるとメジロ、シジュウカラやスズメなどはピリピリして水場から遠ざかります。

### オオバン、バン：

オオバンは日本各地で繁殖していますが、修景池や野川に冬になるとやって来ます。ここの住人のバン(写真の右)は、侵入者のオオバンを追い出そうとしていますが、大きいオオバンは厚かましくて思うようになりません。



冬鳥の中の人気者です。ヒッヒッ・カチカチと鳴くので「ヒンカチ」、黒い羽根に白い紋があるので「紋付き」のあだ名があります。人懐っこく足元近くまで来ことがあるので、望遠レンズの場合後ろに下がって撮らなくてはならない場面もあります。

### ジョウビタキ・オス

紅梅の枝から飛び出した瞬間です。





### キセキレイ・オス：

多摩川からでしょうか、冬になると姿を見せます。川の流れの中の石を渡って虫などを捕っていますが、結構高い木の枝に暫く止まっていたところを撮りました。

### セツブンソウ：

節分の頃から自然観察センター内の福寿草近くで咲いていました。

2月15日の気温は3月下旬なみの14℃もあり、その陽気に誘い出されたのか蜜蜂が蜜を吸いにやって来ていました。



### キンクロハジロ・オス：

二枚貝や巻貝を潜って捕って水中で飲み込みます。後ろの1羽が潜る瞬間です。